

この「あたたかい沖縄」で、未来の宝を守りたい！

- ★団体名 東日本大震災被災者支援プロジェクト・一般社団法人「つなぐ光」
- ★所在地 沖縄県国頭郡恩納村瀬良垣1404-1シーサイドビル203
- ★連絡先 Tel&Fax 098-966-1103 メール tsunaguhikari@gmail.com
- ★情報先 HP <http://tsunaguhikari.jp/> ブログ <http://tsunaguhikari.ti-da.net/>
- ★担当者 事務局長 中川角司（厚生労働大臣認定産業カウンセラー・心理相談員）

活動報告：福島第一原発に起因する被災地の妊婦と子育て家族を対象に、3つの支援（レスキュー・学童保養疎開・コミュニティ形成）を行っています。レスキューとは、沖縄に来た方の支援ではなく、沖縄に「来るため」の支援です。学童保養疎開とは、高レベル放射線地域に住む子供の免疫力を取り戻す「1ヶ月」の沖縄サマーキャンプです。コミュニティ形成とは、避難しても孤立したら別の苦悩が生まれるので、避難者が集う企画を運営して繋がっている安心感を提供する支援です。

＜これまでの支援の状況＞

1：レスキュー支援 【沖縄への避難と滞在場所の提供】

◆被災地から70世帯206名が滞在し、その後27世帯78名以上が移住した

a. 第一次支援体制：3月18日～10月15日 ※福島原発100キロ圏内を対象者

◆被災地から34世帯94名が滞在し、その後27世帯78名が移住した

- ・滞人数：福島16世帯47名／宮城15世帯39名／茨城3世帯8名！
- ・支援内容：連携団体と協力し5週間の滞在無料で全ての食事も提供！
経済事情の乏しい方には、航空運賃と生活一時金を提供！

b. 第二次支援体制：11月1日～3月15日 ※福島原発200キロ圏内を対象者

◆被災地から36世帯112名が滞在し、その後〇〇世帯〇〇名が移住する

- ・滞人数：千葉14世帯36名／茨城9世帯40名／宮城6世帯15名
／栃木3世帯9名／福島2世帯6名／岩手2世帯6名！
- ・支援内容：連携団体と協力し4週間の滞在無料で全ての食事も提供！
財源厳しく、航空運賃と生活一時金無し、大人1日500円負担！

2：学童保養疎開支援 【海と空の林間学校 in 沖縄の開催】

◆定員 20名（小学5年～中学2年）

- ・対象：福島の避難所や仮設住宅の子供優先（結果として9名が優先者）
- ・費用：1ヶ月間、全て込み込み、一人1万円 ※7月25日～8月22日
- ・特記：保養とはメンタルと細胞の修復（1ヶ月で身長10cm程伸びた）

3：コミュニティ形成支援 【孤立しない為の繋がっている安心感を提供】

- ◆多くの被災者が移住するので、「集う」支援を行う活動拠点として、浦添市に「つなぐ処（ツナグトコロ）」を開設した。
- ◆移住する際、どの地域に先輩移住者がいるかをみつける地図として、「つマップ（つなぐマップ）」をホームページ上に公開した。

「つなぐ光」は寄付金で運営をしています。311以降、約800万円の寄付金が集まり、上記支援を実現しました。2012年3月末までの支援が残っておりますが、ほぼ全てを使い活動費が足りません。地震と津波の震災として収まったように見える今、寄付金は集まり難い状況です。この活動にご賛同を頂けましたらサポートをお願いいたします。

寄付金送り先：

- *沖縄銀行 恩納支店 普通 1240915 つなぐ光
- *郵便振替 記号17040 番号7490451 つなぐ光

